

四年制大学で 介護福祉を学ぶことの意義 ～カリキュラム・教育内容の独自性を検討する～

社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会報告において、介護人材の全体像の在り方の方向性に対応すべく、現行のカリキュラムの改正を平成 29 年度を目途に行い、教育内容の充実を図ることが明言された。ケアの質を管理し、介護全体を見通したマネジメントのできる介護福祉士、そのリーダー養成の役割は、まさに四年制大学による介護福祉士養成に期待されるものである。大学での介護福祉士養成の現状の問題を見直し、「教育体系の確立」「専門性に応じた役割と位置付け」について大学連絡協議会としてどのように考え提案していくべきか、会場との議論を交えて四年制大学における介護福祉士教育の独自性について検討をしていきたい。

日時

平成27年6月20日(土)
13時～16時

場所

目白大学新宿キャンパス
10号館9階10901教室

大江戸線・西武新宿線 中井駅 徒歩10分 東西線 落合駅 徒歩18分

話題提供者

熊本学園大学教授 横山 孝子 氏
岡山県立大学教授 谷口 敏代 氏
東洋大学教授 本名 靖 氏

指定討論者

聖隷クリストファー大学教授 太田 貞司 氏
正吉福祉社会社の風・上原施設長
齊藤 貴也 氏

コーディネーター 下垣 光 氏
(日本社会事業大学教授)

参加費:一般 500円 学生 無料 ※参加申し込みは、6月12日(金)までFAXにて受付
問い合わせ:介護福祉士養成大学連絡協議会ホームページ(申込用紙あり)

<http://www.kaigo-university.com/wp/>
目白大学 介護福祉教育支援室 fax:03-5996-3145 (担当:天野)